

# Russell/Nomura 日本株インデックス パフォーマンス・レビュー

## 07年4月は市場全体が続落するも、グロース株の下 落は小幅に留まる

Russell/Nomura Prime 指数（米ドル建て）は前月末より1.80%の下落となった。市場全体は前月に引き続き下落する結果となったが、スタイル別ではグロース株が相対的に良好なパフォーマンスを見せた。リビジョン・インデックスは前月の-1.25より低下し-1.35となった。

- 【グロース株が有効】2007年4月のRussell/Nomura Prime 指数（米ドル建て）では、前月比1.80%の下落となった。スタイル別では、グロース株は小幅な下落に留まり、最も有効なスタイルであった。
- 【リビジョン・インデックスは-1.35】個別銘柄の業績修正動向を示すリビジョン・インデックスは前月の-1.25より低下し、-1.35となり、前月に引き続き上方修正の銘柄数が下方修正の銘柄数を下回った。
- 【海運業のパフォーマンスが良好】Russell/Nomura Prime 指数における業種別では海運業が最も高い月次リターンを示した。一方、最もパフォーマンスが悪化した業種は、その他金融業であった。
- 【キャノン（7751）の寄与度が高い】Russell/Nomura Prime 指数構成銘柄で見た寄与度ランキングでは、キャノン（7751）が最も高いプラスの寄与度を示した。

### スタイル別月次ランキング(円建て・配当込み)

順位	200504	200505	200506	200507	200508	200509	200510	200511	200512	200601	200602	200603	
1	小型 -2.77	コア 2.49	小型 4.18	小型 3.25	割安 6.42	割安 13.04	小型 5.71	成長 8.65	小型 10.19	割安 4.67	割安 -1.11	小型 5.51	
2	コア -4.28	成長 1.87	市場 2.90	成長 2.25	コア 6.13	コア 12.99	割安 2.44	コア 7.48	成長 9.32	コア 4.42	コア -1.17	成長 4.82	
3	市場 -4.31	割安 1.77	割安 2.76	市場 2.21	市場 5.67	市場 12.01	市場 2.09	市場 6.63	市場 7.40	市場 3.71	市場 -2.58	市場 4.73	
4	成長 -4.45	市場 1.62	成長 2.70	コア 2.11	成長 5.60	成長 11.90	コア 1.08	小型 5.67	コア 6.35	成長 3.06	成長 -2.89	割安 4.33	
5	割安 -4.50	小型 -0.18	コア 2.31	割安 1.88	小型 2.49	小型 7.73	成長 0.77	割安 5.00	割安 4.61	小型 2.86	小型 -6.87	コア 4.18	
順位	200604	200605	200606	200607	200608	200609	200610	200611	200612	200701	200702	200703	
1	コア 0.38	割安 -7.54	コア 1.55	コア 0.95	小型 4.77	成長 -0.85	コア 1.61	コア -0.50	コア 5.91	割安 3.47	割安 2.98	割安 -1.00	
2	割安 0.17	市場 -7.90	成長 1.14	割安 -0.24	成長 4.11	市場 -0.97	成長 1.09	成長 -0.60	割安 5.46	小型 3.06	コア 1.99	小型 -1.41	
3	市場 -0.70	成長 -7.94	市場 0.61	成長 -0.56	市場 4.07	割安 -1.08	市場 0.61	市場 -0.80	成長 5.03	コア 2.57	市場 1.78	市場 -1.60	
4	成長 -1.20	コア -8.03	割安 0.53	市場 -0.91	コア 3.86	小型 -1.25	割安 0.56	割安 -0.88	市場 4.99	市場 2.39	小型 1.09	コア -1.94	
5	小型 -2.07	小型 -9.24	小型 -1.44	小型 -5.44	割安 3.82	コア -1.32	小型 -1.49	小型 -1.69	小型 3.10	成長 1.22	成長 0.82	成長 -2.23	
順位	200704	投資スタイルと対応指数											
1	成長 -0.13	市場	Russell/Nomura Prime										
2	市場 -0.67	コア	Russell/Nomura Top Cap										
3	コア -0.94	割安	Russell/Nomura Large Cap Value										
4	小型 -0.97	成長	Russell/Nomura Large Cap Growth										
5	割安 -1.25	小型	Russell/Nomura Small Cap										

(注) リターンは円建て・配当込みのものであり、年率換算されていない。

(出所) 野村証券金融経済研究所

2007年5月2日  
クオンツレポート

カテゴリー

インデックス・リサーチ

野村証券金融経済研究所  
金融工学研究センター

石毛 洋子

田村 浩道

03-3274-1079

arai-1ms4@jp.nomura.com

野村証券株式会社 金融経済研究所 〒100-8130 東京都千代田区大手町2-2-2 アーバンネット大手町ビル

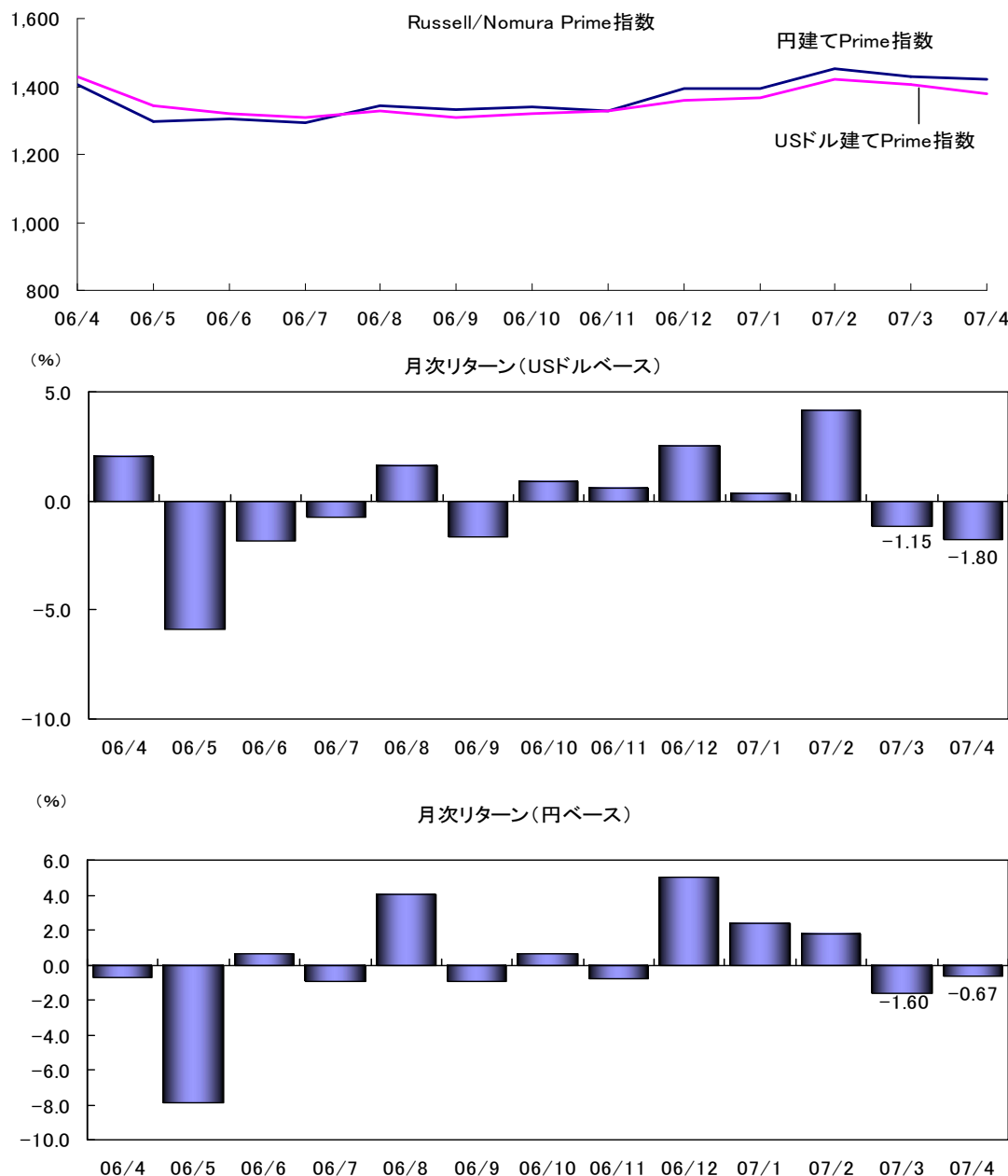
このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布されています。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

# 1. Russell/Nomura 日本株インデックスパフォーマンス概況

## 07年4月のPrime指数(米ドル建て)は、前月比1.80%の下落

2007年4月は、日本株式市場の動きを示す Russell/Nomura Prime 指数(米ドル建て)が前月比 1.80%の下落となった。4月末時点の為替レート(月末終値、出所：日本銀行)は、1月末時点の 118.05 円から 119.41 円となった。円建てベースでは、前月比 0.67%の下落となっている(図表1)。

図表1 Russell/Nomura Prime 指数月次パフォーマンス



(注) リターンは配当込みのものであり、年率換算されていない。

(出所) 野村証券金融経済研究所

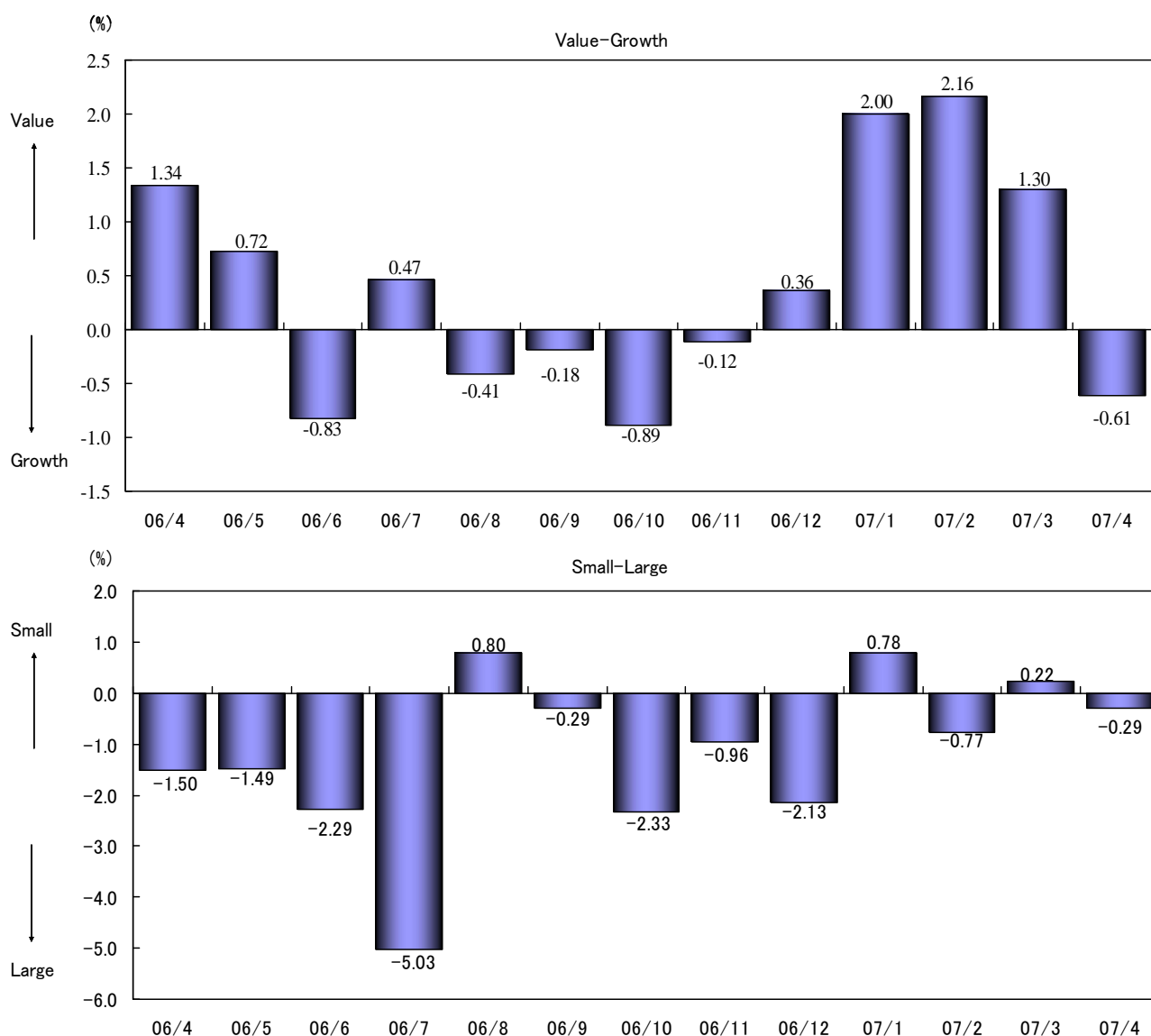
このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布しております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

**グロス株が相対的に  
良好なパフォーマンス**

図表 2 に、スタイル別のリターン・スプレッドを示している。また、図表 3 は、市場、コア（時価総額上位 50%以上）、割安（大型・バリューストック）、成長（大型・グロス株）、小型といった 5 つのスタイル区分による月次リターンのランキングを表している。なお、ここでのパフォーマンスの算出には、円建てベースの数値を採用している。

2007 年 4 月末は、市場全体で下落し 2 カ月連続で不振に終わった。その中でも、比較的下げ幅が小さかったのはグロス株であった。バリューストックとグロス株では -0.61% のスプレッド・リターンとなっている。また、小型株と大型株のスプレッド・リターンは -0.29% と、僅かながら大型株が優勢であったことがわかる。また、年初来、不振傾向であった大型グロス株の下落幅は、他のスタイルに比べ最も小さく、相対的に有効なスタイルであったことが分かる。（図表 3）

図表 2 スタイル別パフォーマンス



(注) Value-Growth は Value と Growth のリターンの差、Small-Large は Small と Large のリターンの差である。

リターンは円建て・配当込みのものであり、年率換算されていない。

(出所) 野村証券金融経済研究所

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布しております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

図表3 スタイル別月次ランキング(円建て・配当込み)

順位	200504	200505	200506	200507	200508	200509	200510	200511	200512	200601	200602	200603
1	小型 -2.77	コア 2.49	小型 4.18	小型 3.25	割安 6.42	割安 13.04	小型 5.71	成長 8.65	小型 10.19	割安 4.67	割安 -1.11	小型 5.51
2	コア -4.28	成長 1.87	市場 2.90	成長 2.25	コア 6.13	コア 12.99	割安 2.44	コア 7.48	成長 9.32	コア 4.42	コア -1.17	成長 4.82
3	市場 -4.31	割安 1.77	割安 2.76	市場 2.21	市場 5.67	市場 12.01	市場 2.09	市場 6.63	市場 7.40	市場 3.71	市場 -2.58	市場 4.73
4	成長 -4.45	市場 1.62	成長 2.70	コア 2.11	成長 5.60	成長 11.90	コア 1.08	小型 5.67	コア 6.35	成長 3.06	成長 -2.89	割安 4.33
5	割安 -4.50	小型 -0.18	コア 2.31	割安 1.88	小型 2.49	小型 7.73	成長 0.77	割安 5.00	割安 4.61	小型 2.86	小型 -6.87	コア 4.18
順位	200604	200605	200606	200607	200608	200609	200610	200611	200612	200701	200702	200703
1	コア 0.38	割安 -7.54	コア 1.55	コア 0.95	小型 4.77	成長 -0.85	コア 1.61	コア -0.50	コア 5.91	割安 3.47	割安 2.98	割安 -1.00
2	割安 0.17	市場 -7.90	成長 1.14	割安 -0.24	成長 4.11	市場 -0.97	成長 1.09	成長 -0.60	割安 5.46	小型 3.06	コア 1.99	小型 -1.41
3	市場 -0.70	成長 -7.94	市場 0.61	成長 -0.56	市場 4.07	割安 -1.08	市場 0.61	市場 -0.80	成長 5.03	コア 2.57	市場 1.78	市場 -1.60
4	成長 -1.20	コア -8.03	割安 0.53	市場 -0.91	コア 3.86	小型 -1.25	割安 0.56	割安 -0.88	市場 4.99	市場 2.39	小型 1.09	コア -1.94
5	小型 -2.07	小型 -9.24	小型 -1.44	小型 -5.44	割安 3.82	コア -1.32	小型 -1.49	小型 -1.69	小型 3.10	成長 1.22	成長 0.82	成長 -2.23
順位	200704											
1	成長 -0.13											
2	市場 -0.67											
3	コア -0.94											
4	小型 -0.97											
5	割安 -1.25											

投資スタイルと対応指数	
市場	Russell/Nomura Prime
コア	Russell/Nomura Top Cap
割安	Russell/Nomura Large Cap Value
成長	Russell/Nomura Large Cap Growth
小型	Russell/Nomura Small Cap

(注) 単位は%。リターンは円建て・配当込みのものであり、年率換算されていない。

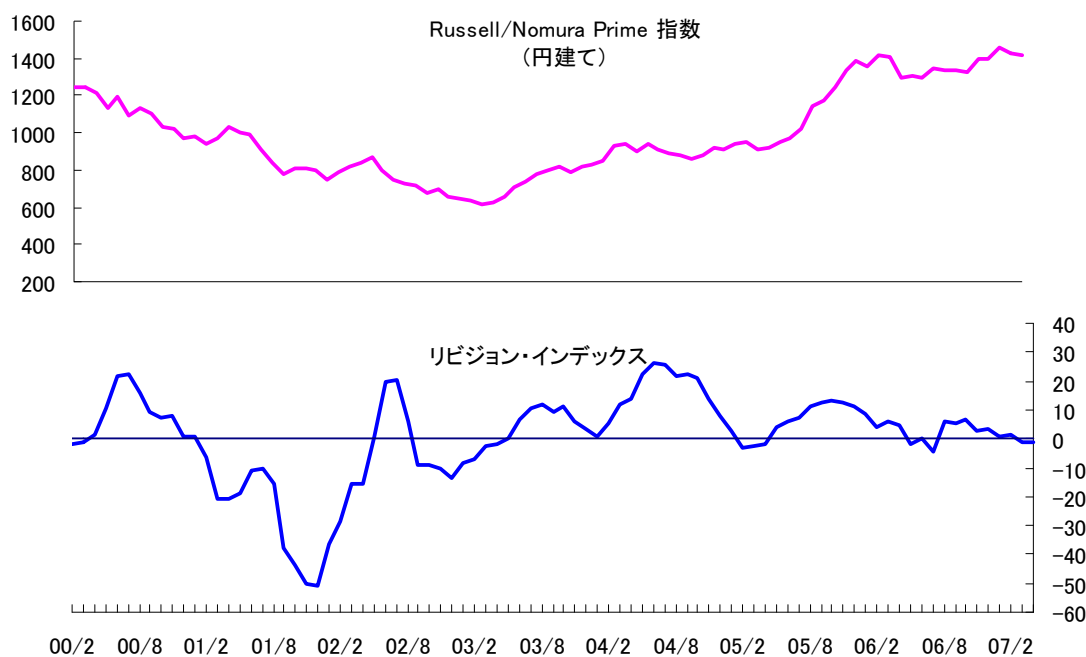
(出所) 野村証券金融経済研究所

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります、また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

### リビジョン・インデックスは前月に続きマイナス水準

Russell/Nomura 日本株インデックスを構成する銘柄の業績修正動向を示すリビジョン・インデックスを見ると（図表4）、2007年4月は、前月の-1.25からさらに低下し、-1.35となった。上方修正銘柄数が492銘柄、下方修正銘柄数が513銘柄となった。前月に引き続き、上方修正銘柄数が下方修正銘柄数を下回っている。

図表4 リビジョン・インデックスとパフォーマンス



	リビジョン インデック ス	上方修正 銘柄数	下方修正 銘柄数
2007年04月	-1.35	492	513
2007年03月	-1.25	490	510

(注) リビジョン・インデックスとは、(上方修正銘柄数－下方修正銘柄数)／有効銘柄数×100で算出される業績の修正動向を示す指数である。2007年4月の有効銘柄数は1,554銘柄。業績予想は野村及び東洋経済が予想する連結・経常利益を用いている。ここでは、母集団をRussell/Nomura日本株に含まれる全銘柄とし、月次の業績修正に基づいて算出している。

(出所) 野村証券金融経済研究所

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります、また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

## 2. 業種別パフォーマンス・レビュー

## 海運業が上昇

2007年4月は、Prime 指数において、良好なパフォーマンスを見せた業種は海運業であった。これは、Prime 指数だけでなく、他のスタイル指数においても、同業種の良好なパフォーマンスが確認できる。ついで、その他製品、倉庫・運輸関連業と続く。一方、パフォーマンス悪化が目立った業種は、その他金融業、証券・商品先物取引業などであった。(図表5)。

図表 5. Russell/Nomura 業種別パフォーマンス(上位・下位 10 業種)

指数	Prime	-0.67	Large Value	-1.25	Large Growth	-0.13	Small	-0.97
上位業種	Prime		Large Value		Large Growth		Small	
	1 海運業	13.71	海運業	11.95	海運業	16.17	海運業	15.62
	2 その他製品	6.42	食料品	6.37	その他製品	10.09	倉庫・運輸関連業	3.89
	3 倉庫・運輸関連業	4.08	倉庫・運輸関連業	4.83	機械	5.83	保険業	3.06
	4 食料品	3.83	金属製品	4.24	電気機器	4.17	ガラス・土石製品	2.78
	5 機械	3.55	ゴム製品	3.10	その他金融業	3.06	鉄鋼	2.15
	6 金属製品	3.09	その他製品	2.73	食料品	2.03	電気・ガス業	1.95
	7 電気機器	2.77	電気機器	1.74	精密機器	1.90	医薬品	1.88
	8 ゴム製品	2.72	医薬品	1.49	金属製品	1.77	食料品	1.70
	9 水産・農林業	1.76	機械	0.98	医薬品	1.76	水産・農林業	1.60
10 医薬品	1.72	サービス業	0.82	ガラス・土石製品	0.88	ゴム製品	1.59	
下位業種	Prime		Large Value		Large Growth		Small	
	1 その他金融業	-5.92	その他金融業	-14.96	電気・ガス業	-8.26	その他金融業	-10.67
	2 証券・商品先物取引業	-4.99	鉄鋼	-6.07	保険業	-6.40	証券・商品先物取引業	-9.19
	3 鉄鋼	-4.02	不動産業	-5.06	証券・商品先物取引業	-6.12	石油・石炭製品	-3.98
	4 情報・通信業	-3.83	情報・通信業	-3.96	銀行業	-4.90	情報・通信業	-3.71
	5 銀行業	-3.83	証券・商品先物取引業	-3.59	小売業	-4.08	サービス業	-3.29
	6 小売業	-3.42	石油・石炭製品	-3.18	情報・通信業	-4.03	パルプ・紙	-2.98
	7 石油・石炭製品	-3.02	銀行業	-3.14	サービス業	-3.30	小売業	-2.53
	8 パルプ・紙	-2.66	小売業	-3.10	鉄鋼	-3.05	鉱業	-2.30
	9 卸売業	-2.59	卸売業	-2.97	非鉄金属	-2.15	非鉄金属	-2.25
10 サービス業	-2.49	非鉄金属	-2.66	石油・石炭製品	-1.82	卸売業	-2.11	

(注) 単位は (%)。リターンは円建て・配当込みのものであり、年率換算されていない。

(出所) 野村証券金融経済研究所

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります、また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

### 3. 個別銘柄パフォーマンス・レビュー

#### 寄与度上位は、キヤノン (7751)

ここでは、個別銘柄の各指数へのパフォーマンス寄与度をランキングし、その結果に基づき、上位・下位 5 社を示している (図表 6)。なお、月次リターンは、円建てベースで示した。

Russell/Nomura Prime 指数を構成する銘柄のうち、キヤノン (7751) が最も高い寄与度を示し、0.133%、月次リターンは 6.64%となった。次いで、高い寄与度を示したのは、ソニー (6758)、任天堂 (7974) となっている。一方、マイナスの寄与度が大きかったのは、前月に引き続き三菱 UFJ フィナンシャル・グループ (8306) などとなっている。

図表 6 個別銘柄パフォーマンス寄与度上位・下位 5 社

		Prime: -0.67%				Top: -0.94%			
		寄与度 (%)		リターン (%)		寄与度 (%)		リターン (%)	
上位銘柄	1	7751	キヤノン	0.133	6.64	7751	キヤノン	0.254	6.64
	2	6758	ソニー	0.118	7.18	6758	ソニー	0.225	7.18
	3	7974	任天堂	0.091	9.93	7974	任天堂	0.173	9.93
	4	6301	小松製作所	0.089	15.52	6301	小松製作所	0.171	15.52
	5	6502	東芝	0.080	13.98	6502	東芝	0.153	13.98
下位銘柄	1	8306	三菱UFJフィナンシャル・グループ	-0.175	-6.02	8306	三菱UFJフィナンシャル・	-0.336	-6.02
	2	7203	トヨタ自動車	-0.126	-3.05	7203	トヨタ自動車	-0.241	-3.05
	3	8411	みずほフィナンシャルグループ	-0.083	-4.61	8411	みずほフィナンシャルグ	-0.158	-4.61
	4	9984	ソフトバンク	-0.075	-14.36	9984	ソフトバンク	-0.143	-14.36
	5	8604	野村ホールディングス	-0.069	-5.70	8604	野村ホールディングス	-0.132	-5.70

		Large-V: -1.25%				Large-G: -0.13%				Small: -0.97%			
		寄与度 (%)		リターン (%)		寄与度 (%)		リターン (%)		寄与度 (%)		リターン (%)	
上位銘柄	1	6758	ソニー	0.274	7.18	7751	キヤノン	0.294	6.64	5541	大平洋金属	0.072	17.02
	2	6971	京セラ	0.055	5.04	7974	任天堂	0.201	9.93	8841	テオオーシー	0.052	38.31
	3	9101	日本郵船	0.052	9.31	6301	小松製作所	0.198	15.52	9706	日本空港ビルデング	0.051	28.56
	4	9107	川崎汽船	0.050	16.99	6502	東芝	0.177	13.98	8905	イオンモール	0.044	16.47
	5	2503	麒麟麦酒	0.048	6.35	4063	信越化学工業	0.118	8.07	8853	ダイヤモンドシティ	0.032	19.25
下位銘柄	1	9432	日本電信電話	-0.145	-4.33	8306	三菱UFJフィナンシャル・	-0.254	-6.02	8595	ジャフコ	-0.055	-20.25
	2	8306	三菱UFJフィナンシャル・グループ	-0.141	-6.02	7203	トヨタ自動車	-0.253	-3.05	8583	三菱UFJニコス	-0.042	-25.12
	3	5401	新日本製鐵	-0.133	-6.28	9984	ソフトバンク	-0.166	-14.36	4723	グッドウィル・グループ	-0.041	-18.64
	4	8058	三菱商事	-0.130	-6.22	8411	みずほフィナンシャルグ	-0.163	-4.61	4835	インデックス・ホールデ	-0.038	-33.31
	5	8604	野村ホールディングス	-0.120	-5.70	8308	リソナホールディングス	-0.105	-14.20	8609	岡三ホールディングス	-0.033	-12.72

(注) リターンは円建て・配当込みのものである。

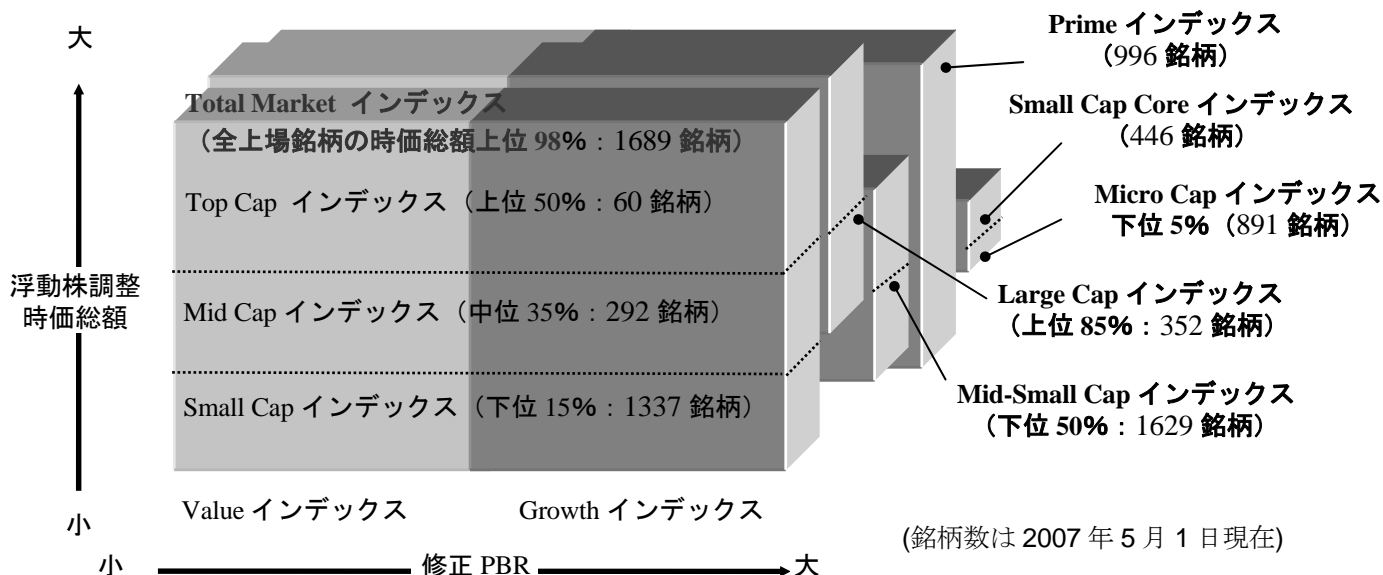
(出所) 野村証券金融経済研究所

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布しております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

## Q&A Russell/Nomura 日本株インデックスについて

Q: Russell/Nomura 日本株インデックスって何ですか？

A: Russell/Nomura 日本株インデックスは米国、フランクラッセルカンパニーと野村証券金融経済研究所が共同開発した日本株式投資スタイルベンチマークです。



この他に 33 業種別インデックス (Total Market、規模別、Value、Growth、Prime) も用意されています。なお、規模別インデックスの分類指標は、安定持ち株控除後の時価総額です。Value/Growth インデックスの分類指標は、自己資本の含みを修正した修正 PBR です。

Q: Russell/Nomura 日本株インデックスのルールブックはどこにありますか？

A: 2006 年度版は、  
[http://qr.nomura.co.jp/jp/frcnri/docs/RN\\_rule2006.pdf](http://qr.nomura.co.jp/jp/frcnri/docs/RN_rule2006.pdf)  
 をご覧ください。

Q: Russell/Nomura 日本株インデックスのデータを見たいのですが、どこで公表していますか？

A: 以下の情報端末でご覧いただけます。

Bloomberg	: RNJI
時事通信	: SQ21、SQ22、SQ23、SQ24
QUICK	: NRIJ500~504、510~517
REUTERS	: FRCNRI01、FRCNRI02、FRCNRI03、FRCNRI04
INTERNET	: <a href="http://qr.nomura.co.jp/jp/frcnri/index.html">http://qr.nomura.co.jp/jp/frcnri/index.html</a>

なお、<http://qr.nomura.co.jp/jp/frcnri/index.html> からは、最新のインデックスリターン、構成銘柄、構成銘柄の変更などがご覧いただけます。

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります、また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

Q: Russell/Nomura 日本株インデックスのデータが欲しいのですが？

A: インデックスリターン、インデックス個別銘柄時価総額ウェイト、個別銘柄情報については、  
<http://qr.nomura.co.jp/jp/frcnri/index.html> からダウンロードできます。QUICK、REUTERS、Bloomberg  
においても一部に限られますが、データを取得できます。それ以外に関しましては、下記の連絡先  
にお問い合わせください。

Q: Russell/Nomura 日本株インデックスについて英語の資料が欲しいのですが？

A: <http://qr.nomura.co.jp/en/frcnri/index.html> をご覧ください。

上記以外の Russell/Nomura 日本株インデックスに関するお問い合わせ先

中嶋 啓浩・徳野 明洋・平野 由美子：idx\_mgr@frc.nomura.co.jp  
電 話：03(3274)0924

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村證券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村證券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村證券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村證券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村證券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村證券から直接提供するという方法でのみ配布しております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村證券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします